

特集

一段上の緊急訪問

急場をしのぐ対応から、暮らしをつなぐケアへ

訪問看護において避けられないのが緊急訪問。緊急で訪問を要するような症状悪化やトラブルをきっかけに、本人が望む在宅療養の継続が危ぶまれることもあります。

緊急対応時の対応を洗練させることで、その後の療養生活を穏やかなものにできるのではないかと。では、どんなことに目配りし、工夫を講じればよいのか。

具体的な事例を通して、考えていきます。緊急訪問をより質の高いものにするための特集です。

一段上の緊急訪問を考える

●佐藤文俊

【事例で考える】

- ①見逃し注意ケース | 呼吸困難感を訴える療養者
- ②よくあるケース | 膀胱留置カテーテルを利用する療養者
- ③頻回になりがちなケース | がん性疼痛コントロールを要する療養者

●佐藤文俊

特別企画

訪問看護における有害事象

「訪問看護従事者の事故」「訪問中、利用者に発生する事故」

●柏木聖代／森岡典子

※一部変更となることがあります。

編集後記

昨年、年末、家族に陽性者が出たことで、自宅軟禁的な生活を強いられました。外に出ず、ひと箇所にごくく集っての暮らしは、普段から同居する家族にもかわらず、いや、家族だからこそ、息が詰まるような感じがしました。家族ではない人に向けてであろう期待を、家族というだけで向けてしまい、しかしあえなく散る。それに摩擦する。そんなこともあったような……。家族とは難しいものです。

▶自分が経験してきた家族を物差しに、「家族ってこういうものでしょう」と考えてしまいがちです。だからなのでしょう、特集内の実践報告のケースを読んだとき、「なんでそういう行動になってしまうのだろう？」と正直思っていました。でも、執筆者の方々が示してくださったように、渡辺式を用いて距離をとって別アングルから状況を観察し直すと、不合理に思えた家族の言動にも納得がいくから不思議です。渡辺式の状況整理の方法論は、家族以外の関係性においても役立つそうです。▶今号から新たにスタートする連載があります。暮らしの中の思いやモヤモヤに言葉を与えてくれるものになりそうです。…小池

訪問看護と介護 第28巻 第2号（通巻314号） 2023年3月15日発行（隔月15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2023, Printed in Japan

1部定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

販売・PR部：☎03-3817-5650 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・木下

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaigo

医学書院ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

印刷：三報社印刷株式会社

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。